

保健体育科学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日(〇)
 第6校時 13:45~14:25
 学校名 高等学校
 対 象 第3学年 E・F組 25名
 会 場 グランド
 授業者 〇〇 〇〇

1 単元名 球技 ゴール型 「サッカー」

2 単元の目標

- (1) 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、自己の課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能でペアなどの仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。
 ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 (知識・技能)
- (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 (思考力・判断力・表現力)
- (3) 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、チームメイトとの合意形成に貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い高め合おうとする事などや、健康、安全を確保することができるようにする。 (学びに向かう力・人間性)

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①正確なパスの受け渡しをすることができる。	①課題に応じた解決方法を見出し、取り組み方を工夫しながら他者に伝えている。	①自己やチームの目標を見付け、その達成のために主体的に取り組もうとしている。
②ルールを理解し、ゲームに参加することができる。	②よりよりプレイに向け、チームメイトに自己の考えを伝えている。	②フェアプレイに努め、周囲の安全に配慮しながら参加しようとしている。
③チームの課題を見付け、明確にすることができる。		

4 指導観

(1) 単元観

本単元は、高等学校学習指導要領(平成30年告示)科目体育の2内容、E球技(1)ア、(2)、(3)に基づいて設定した。また、高等学校学習指導要領解説保健体育の内容を踏まえ、本単元における生徒に味わわせたい運動の特性を以下のようにまとめる。

ゴール型の運動種目であるサッカーは、状況に応じたボール操作、空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を行うことが求められる運動種目である。本単元では予め8~9人でのチームを作り、毎時間のゲームを通して自己の課題とチームの課題を見付けながら取り組むこととする。第2学年までの授業で、近い距離でのシュートやパス、ドリブルといった基本的な技術を学習しているため、第3学年ではゲームを中心に実施する。固定チームでのゲームを経験していくことで、チーム内の課題の共有、コミュニケーションの活性化、戦術の熟成と技能の向上が期待できる。また、一人一人の違いに応じたプレイを大切にしようとする事、互いに助け合い高め合おうとする事を通じ、主体的に学習に取り組む態度を育てていきたい。

(2) 生徒観

ア 教師から見た生徒観

当該授業のクラスは、運動部所属生徒は25名中11名と半数以下であるが、文化部所属の生徒も運動に親しみを持ち、楽しく保健体育の授業に取り組んでいたり、自主的に定期的な運動をしたりしている生徒が多い。サッカー経験者が5名程度いるため、各チームに分かれ練習内容や戦略を考えさせる際に中心的な役割を果たすことができる。運動することに対し強い拒否反応を示す生徒や四肢に障害を有する生徒が在籍しているため、チーム編成や担当するポジション等に配

慮が必要である。

イ アンケート調査による実態調査

ゴール型の球技（サッカー）に対する意識、既習状況についての実態調査アンケートを実施した。

(ア) 調査方法：質問紙調査

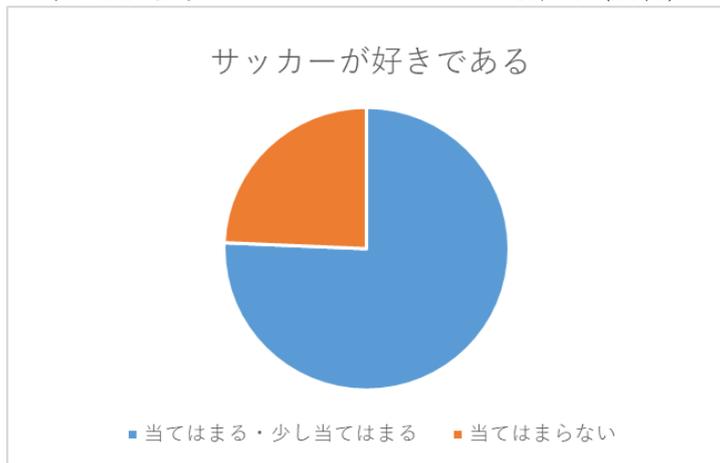
(イ) 調査対象：第3学年 74名 調査時期：令和〇年〇月下旬 回収数：74

(ウ) 調査内容及び調査結果（質問用紙調査 以下、抜粋である）

・サッカーが好きである

当てはまる、少し当てはまる . . . 56/74 (76%)

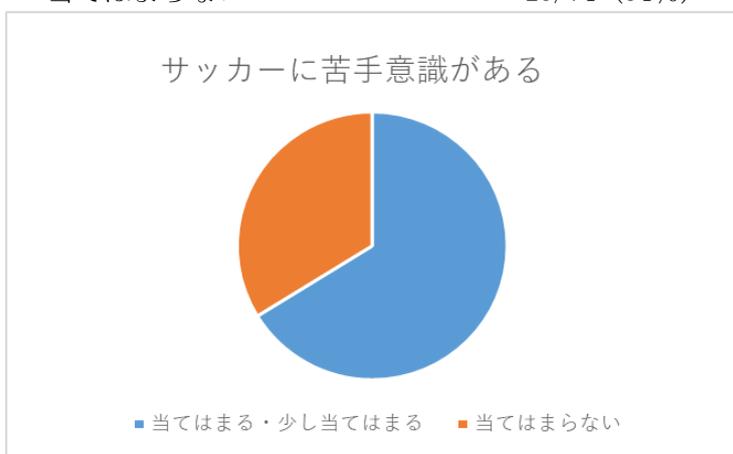
当てはまらない . . . 18/74 (24%)



・サッカーに苦手意識がある

当てはまる、少し当てはまる . . . 49/74 (66%)

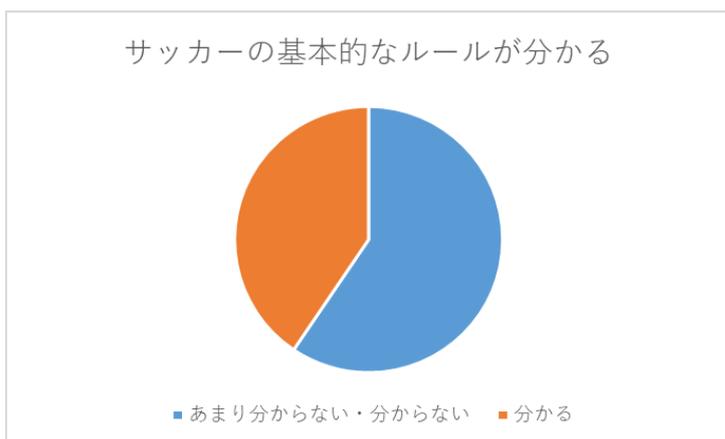
当てはまらない . . . 25/74 (34%)



・サッカーの基本的なルールが分かる

あまり分からない、分からない . . . 44/74 (59%)

分かる . . . 30/74 (41%)



(エ) 考察

「サッカーが好きである」の質問に対し、「当てはまる」、「少し当てはまる」と回答した生徒が全体の76%いることが分かった。その反面、「サッカーに苦手意識がある」の質問では、「当てはまらない」と回答した生徒が34%にとどまっている。

この結果から、サッカーは好きであるが、やることにに対して何らかの苦手意識をもっていることが分かった。さらに、「どのような時に苦手だと感じるか」という自由記述では、「ボールをパスしたりシュートを打ったりするとき」、「蹴り方が分からない」、「トラップやヘディングなど、蹴る以外の動作ができない」、「ドリブルが苦手」、「シュートが入らない」、「ワンタッチでパスが出せない」、「ボールを遠くに飛ばせない」、「味方との連携」といった回答が見られた。

自由記述の内容から、サッカーに苦手意識がある生徒にとっては、ほぼ全ての基本技術を身に付ける必要があることが分かった。しかし、本単元での全ての技術習得は現実的でないため、ゲームに参加してチームワークや空間を埋める動きを経験しながらサッカーの楽しさを感じさせるため、基本技術の中でパスの受け渡しに照準を当てた練習を行わせていきたい。

また、「サッカーのルールが分かる」と回答した生徒が41%にとどまっているため、オフサイドやスローイン、コーナーキックといったゲーム中に誰もが経験するであろう状況を抽出しながら説明を重ねていくことで、理解を促していきたい。

(3) 教材観

「チームノート」をチームに一部配布しており、それを基にして、個人の課題と目標やチームの課題と目標をループリックにしたものに対して、チームの自己評価を記入するようになっている。本単元で大切にしたいチームでのコミュニケーションの活性化と連携の強化について生徒に説明し、チームの評価を個人の評価に落とし込むことを確認する。また、実技時間確保の観点から、チームノートを毎時間回収することはせず、単元の最後の授業時にまとめて提出することとしている。

授業のルールと進行については、単元の最初に説明し、生徒が主体的に活動できるような仕組みを構築しておく。

5 年間指導計画における位置付け

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
単位数		入学式	中間考査	体育祭	期末考査	夏休み	始業式	文化祭	中間考査	期末考査	冬休み	始業式	7/19大会	学末考査	合宿	春休み
第1学年	女子	陸上・体力テスト 体づくり運動		体育祭練習	体力テスト・水泳		水泳	球技 ネット型「テニス」 体育理論	球技 ネット型 「バドミントン」	長距離走	長距離走	多種目				
	男子	球技 ネット型「バレー」 球技 ゴール型「バスケ基礎」		体育祭練習	球技 ネット型「バレー」 球技 ゴール型「バスケ基礎」		水泳	球技 ネット型「バドミントン」 体育理論	球技 ネット型 「テニス」	長距離走	長距離走	多種目				
第2学年	女子	球技 ネット型「バレー基礎」		体育祭練習	球技 ネット型「バレー基礎」		水泳	球技 ネット型「テニス」・体育理論		長距離走	長距離走	多種目				
		陸上・体力テスト 体づくり運動		体育祭練習	体力テスト・水泳		水泳	球技 ゴール型 「バスケ基礎」	球技 ネット型 「バドミントン」	長距離走	長距離走	多種目				
		陸上・体力テスト		体育祭練習	体力テスト・水泳		水泳	球技 ベースボール型 「キックベース」	球技 ゴール型 「アルティメット」「ゴルフ」など	長距離走	長距離走	多種目				
	男子	陸上・体力テスト 体づくり運動		体育祭練習	体力テスト・水泳		水泳	球技 ベースボール型 「ソフトボール」 体育理論	球技 ゴール型「サッカー」	長距離走	長距離走	多種目				
		武道「剣道」		体育祭練習	水泳		水泳	武道「剣道」		長距離走	長距離走	多種目				
		球技 ネット型「テニス」		体育祭練習	球技 ネット型「テニス」		水泳	球技 ネット型「バレー基礎」	球技 ゴール型「バスケ基礎」	長距離走	長距離走	多種目				
第3学年	女子	球技 ネット型「バレー基礎」		体育祭練習	球技 ネット型「バレー基礎」		水泳	球技 ネット型「バドミントン」 体育理論	球技 ネット型「テニス」	長距離走	長距離走	多種目				
		陸上・体力テスト 体づくり運動		体育祭練習	体力テスト・水泳		水泳	球技 ゴール型「サッカー」 体育理論	球技 ゴール型「バスケ基礎」	長距離走	長距離走	多種目				
		陸上・体力テスト		体育祭練習	体力テスト・水泳		水泳	球技 ベースボール型 「ソフトボール」	球技 ゴール型 「アルティメット」「ゴルフ」など	長距離走	長距離走	多種目				
	男子	陸上・体力テスト 体づくり運動		体育祭練習	体力テスト・水泳		水泳	球技 ネット型「テニス」 体育理論	球技 ゴール型「サッカー」	長距離走	長距離走	多種目				
		陸上・体力テスト		体育祭練習	体力テスト・水泳		水泳	球技 ゴール型「アルティメット」「ゴルフ」など	球技 ベースボール型 「ソフトボール」	長距離走	長距離走	多種目				
		球技 ネット型「バドミントン」		体育祭練習	球技 ネット型「バドミントン」		水泳	球技 ネット型「バレー基礎」	球技 ゴール型「バスケ基礎」	長距離走	長距離走	多種目				

6 単元の指導計画と評価計画(全5時間)

時	目標	○学習内容・学習活動	評価基準(評価方法)		
			ア	イ	ウ
第1時	単元の目標を理解する。 基本技術を確認する。	○授業のルールと評価方法の確認 ○インサイドキックでのパス練習 ・相手に正確なパスを出せるようにする。	① (行動観察)		② (行動観察)
第2時	チームの課題と目標を共有した上でゲームを行い、よりよいプレイに向けて主体的に活動する。	○本時の確認 ・試合でのパスの技術の評価を知ることを知る。 ○チームの目標確認 ○ゲーム練習 ・各チームのキャプテン同士で話し合い、練習時間とゲーム時間を決める。 ・ゲームを行う。 ○チームノートへの記入 ・ループリックに対しての自チーム評価を記入する。 ・チームの課題を記入する。 ・各個人の課題を記入する。	① (行動観察・記録表分析)	① (行動観察・記録表分析)	
第3時	チーム内での課題と目標を共有した上でゲームを行い、よりよいプレイに向けて主体的に活動する。	○本時の確認 ・ゲームでのルール理解度、ポジションごとの動き方を評価することを知る。 ○自チームの他チームによる評価確認 ○チーム毎の目標確認 ○ゲーム練習 ・各チームのキャプテン同士で話し合い、練習時間とゲーム時間を決める。 ・ゲームを行う。 ○チームノートへの記入 ・ループリックに対しての自チーム評価を記入する。 ・チームの課題を記入する。 ・各個人の課題を記入する。 ○チームノートの中間提出	② (行動観察・記録表分析)	② (行動観察・記録表分析)	
第4時	チーム内での課題と目標を共有した上でゲームを行い、よりよいプレイに向けて主体的に活動する。	○本時の確認 ・パスの技術、ルール理解度、動き方の複合的な評価をすることを知る。 ○自チームの他チームによる評価確認 ○チーム毎の目標確認 ○ゲーム練習 ・各チームのキャプテン同士で話し合い、練習時間とゲーム時間を決める。 ・ゲームを行う。 ○チームノートへの記入 ・ループリックに対しての自チーム評価を記入する。 ・チームの課題を記入する。 ・各個人の課題を記入する。		② (行動観察・記録表分析)	① (行動観察・記録表分析)
第5時 (本時)	チーム内での課題と目標を共有した上でゲームを行	○本時の確認 ・パスの技術、ルール理解度、動き方の複合的な評価をすることを知る。 ○相互のチームによる評価確認	③ (行動観察・記録表)		① (行動観察・記録表)

	い、よりよいプレイに向けて主体的に活動する。	<ul style="list-style-type: none"> ○チームの目標確認 ○ゲーム練習 <ul style="list-style-type: none"> ・各チームのキャプテン同士で話し合い、練習時間とゲーム時間を決める。 ・ゲームを行う。 ○チームノートへの記入 <ul style="list-style-type: none"> ・ループリックに対しての自チーム評価を記入する。 ・チームの課題を記入する。 ・各個人の課題を記入する。 	分析)		分析)
--	------------------------	--	-----	--	-----

7 指導に当たって

- 生徒主体での運営ができるよう、授業の仕組みを構築した。
- 「チームノート」を活用し、ループリックに基づいた自己評価、個人とチームの課題・目標の確認を毎時間行えるようにした。
- 単元の初めに授業のルールと評価方法を周知し、生徒が果たすべき行動をはっきりとさせた。
- 均等なチーム編成を生徒自身で行わせることによって、コミュニケーションの活性化を図った。

8 本時(全5時間中の第5時)

(1) 本時の目標

- ・チームの課題を明確にし、授業に取り組むことができる。
- ・自己の課題、チームの課題に合わせた目標を設定し、目標達成のために主体的に取り組むことができる。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準(評価方法)
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ○整列、挨拶 ○本時の説明 <ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れを確認する。 ・安全に留意して取り組むことを確認する。 ・本時で評価するポイントを確認する。 ・自チームの他チームによる評価を確認する。 ○準備運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・速やかに授業を開始できるようにする。 ・各チームのキャプテン主導で授業を進行していくことを説明する。 ・パスの技術、ルール理解、ポジション毎の動き方を評価することを説明する。 ・巡回しながら言葉掛けを行い、生徒の体調を確認する。 ・チームノートを確認し、本時のチーム目標を確認する。 	ア-③ チームの課題を見付け、明確にすることができる。(記録表)
展開 30分	<p>【グループ学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○チーム内でのゲーム練習 <ul style="list-style-type: none"> ・各チームのキャプテンがチーム目標をホワイトボードに記入する。 ・各チームのキャプテン同士で話し合い、練習時間、ゲームの時間を設定する。 ・チーム毎に練習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・練習時間とゲームの時間設定が適切であるかどうかを聞き取って確認する。 ・進行が滞らないよう適宜言葉掛けを行う。 	ア-③ チームの課題を見付け、明確にすることができる。(行動観察) ウ-① 自己やチームの目標を見付け、その達成のために主体的に取り組もうとしている。 (行動観察)

	<p>○ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームを行う。 <p>・待機中に、必要に応じてチームノートに記入する。</p> <p>○片付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員で協力し、道具の片付けを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの取り組みを観察し、パスの技術、ルール理解、ポジションごとの動き方の理解を評価する。 ・チームノートに必要事項の記入を促す。 	<p>ウ-①</p> <p>自己やチームの目標を見付け、その達成のために主体的に取り組もうとしている。</p> <p>(記録表)</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>○本時のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードに記入した目標を基に、本時の振り返りを行う。 ・各チームキャプテンが本単元の改善点を発表する。 <p>○整列、挨拶</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人に目を配り、健康観察を行う。 	

(3) 授業観察の視点

- ・主体性を育むために生徒主体の授業形態をとったが、教員の働き掛けや関わり方は適切であったか。
- ・実技時間確保の観点から、チームノートの提出は単元の最後としたが、生徒の授業への取り組み方が活発となり当初の目標は達成されていたか。
- ・生徒がルーブリックに正対し、目標に向かって主体的に取り組む姿は見られたか。